

中部における資源循環経済（サーキュラー・エコミー）圏の形成に向けて

<2020 年度の活動状況>

- 中部 5 県に対し、循環経済への取り組み状況と課題の聴き取り調査（3月～6月）
 - ・調査結果として、プラスチック循環および食品ロスへの対応が共通課題として挙げられ、一覧表として各県に課題認識の共有化を実施。（7月）

- 産学官が連携して広域的な課題解決に取り組む「場」の設置について
 - 経済産業省(中部経済産業局)、環境省（中部地方環境事務所）および中部大学 細田衛士教授）に相談。（8月～10月）

- 「日本型循環経済を目指して」と題する講演会を開催（11月）
 - 中部大学 経営情報学部 細田衛士教授

- 今後、中部圏の強みを活かしたプラスチック資源に活動を絞り、循環経済圏の形成に向けて、中部圏社会経済研究所や環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) と連携して、課題解決に向けた、実効性のある活動として推進したい。

循環経済型の社会と中経連の関係のイメージ

